

蓮沼地区地域審議会 会議録

会議の名称	第3回蓮沼地区地域審議会	
開催日時	平成19年3月23日(金)	午後1時30分 開会 午後4時25分 閉会
開催場所	山武市蓮沼スポーツプラザ 多目的ホール	
議長氏名	今関 紘	
出席者氏名	別添出欠者名簿のとおり	
欠席者氏名	別添出欠者名簿のとおり	
事務局氏名	別添出欠者名簿のとおり	
会議事項	<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.平成19年度主要施策について 2.山武市総合計画について 3.福祉問題について 4.観光イベントについて 5.その他 	<p>会議結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1.2.について、企画政策課から内容説明 ・3.4.の質問事項等について、執行部により説明
会議の経過	別添会議経過のとおり	
会議資料	「次第」、「平成19年度主要事業説明資料」、「山武市総合計画における施策のくくり」、「経営課題について」、「新市建設計画主要施策」、「高齢者社会と「福祉コミュニティ」づくりへの提言」、「山武市アドボカシー相談室の設置について(要望書)」、「質問事項等提案書(観光イベントについて)」	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	署 名	
平成19年 5月11日	椎 名 偉	
	木 島 弘 喜	

出 欠 席 者 名 簿

会議の名称 第3回蓮沼地区地域審議会

開催日 平成19年3月23日(金)

出 欠 席 者 名 簿

<u>委 員 氏 名</u>		<u>出 欠</u>
会 長	今関 紘	⊕・欠
副会長	朝日 典男	⊕・欠
委 員	飯島 正夫	⊕・欠
委 員	石橋 宏	⊕・欠
委 員	浅野 三夫	⊕・欠
委 員	佐藤 昌助	⊕・欠
委 員	橋本 京子	⊕・欠
委 員	秋葉 修	⊕・欠
委 員	高宮 孝子	⊕・欠
委 員	石橋 滝夫	出・⊕
委 員	椎名 偉	⊕・欠
委 員	小関 義也	出・⊕
委 員	木島 弘喜	⊕・欠
委 員	藤井 宗二	⊕・欠
委 員	土屋 健	⊕・欠

出席 13 名 ・ 欠席 2 名

職員

所 属	職 名	氏 名
蓮沼支所	支所長（兼総務課長）	加瀬 芳美
〃 地域振興課	課長	浦上 康信
〃 保健福祉課	課長	橋本 岩雄
〃 市民課	課長	小川 雄三郎
〃 総務課 総務係	主査	石橋 和記
総務部 企画政策課	課長	石田 徳男
総務部 企画政策課 企画係	副主査	越川 正
経済環境部 商工観光課	課長	小川 重安

職員 8 名

(会議経過)

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>委員の皆様には大変お忙しい中をご出席をいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>ただ今から第3回の蓮沼地区地域審議会を開催させていただきます。</p> <p>まず開会に先立ちましてご報告とお願いをさせていただきます。</p> <p>まず、本日の審議会でございますが、本日の会議でございますけれども、地域審議会設置に関する協議第8条第4項の規定によりまして、過半数の出席をいただいておりますので、会議が成立することをご報告させていただきます。</p> <p>また本日の会議は、本会議ということで会議録を全文でさせていただきますのでご発言の際には発言の際は必ず挙手の上、氏名を述べてからご発言をしていただきたいと思いますというをお願い申し上げます。</p> <p>それでは、第3回蓮沼地区地域審議会を開会させていただきます。</p>
会 長	<p>まず、会長よりごあいさつをいただきたいと思います。</p> <p>第3回の蓮沼地区の地域審議会に、委員の皆様ご出席をいただきましてありがとうございます。</p> <p>事務局の皆様にもお忙しい中をご出席をいただいております。大変ありがたく感謝を申し上げる次第であります。</p> <p>さて合併をして間もなく1年を経過しようとしているところであります。この間、私たちが想像する以上にこの山武市の行政・政治がドラスチックに動いております。これゆえに地域審議会の持っている機能も皆様からご意見をいただいてさまざまな建議をしていくというようなことがとても大切に思われることであります。一例申し上げますとこの4月からは出張所という形で事務が運営されるということであり持っていた機能が縮小されるということでもあります。これも時代の趨勢でありますけれどもどうか委員の皆様の中で蓮沼の地域のことについて積極的なご意見をいただき会議を進めたいと思います。よろしくご協力の程をお願い申し上げます。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは会議に入ります前にこちらに控えております職員をご紹介させていただくところですがこちらにおります企画政策課の職員と支所の職員は何度か紹介しているところでもありますので本日一点だけ前回の会議で議題に取り上げられなかった事項がございまして本日本庁の方から商工観光課長の小川課長に出席をいただいておりますので小川課長のみご紹介をさせていただきます。</p>
商工観光課長	<p>経済環境部の商工観光課の小川と申します。よろしく願いいたします。</p>

事務局	<p>それでは地域審議会設置に関する協議第8条第2項の規定によりまして会議の議長には会長が当たることになっておりますので会長の方から議事進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。</p>
会長	<p>それでは会議に入らせていただきます。議事に入る前に議事録を作成するための録音をいたしますので発言の際はお名前を述べてから発言をお願いいたします。次に議事録署名人の指名をさせていただきます。今回は木島委員と椎名委員をお願いいたします。それから議題では議題1平成19年度主要施策になっておりますけれども観光イベントについてを繰り上げて第一の議題とさせていただきますそこから会議を始めさせていただきます。それではこの議題のメインになっています観光イベントについてを議題にしますので秋葉委員からご意見をいただきたいと思ひます。</p>
秋葉委員	<p>秋葉と申します。それでは観光イベントについてということで旧蓮沼村時代にやっておりましたサマーカーニバルというイベントについて山武市としての認識は19年度の計画は一週間ほど前に実行委員会でお聞きしましたけれどもそれにとりないところについて多少時間をいただけるとということなので多少所感等をイベントに限定して質問させていただきましたけれども、旧蓮沼村におきましては昭和30年代後半から海水浴を中心といたしまして九十九里浜の海水浴として農業とともに村の産業の一つとして行政を中心としまして村の一つの柱として推進してきました。そうした中蓮沼海浜公園もこの九十九里地区の中に県立の海浜公園もきまして、観光の大きなうねりの中で通年観光といったことをめざしていき地域の活性化を含めまして地場産業の農業と観光を道の駅等関係者の努力で当初の予想をはるかに上回る実績を上げています。そういう意味では地域としては先人の努力と先輩方の努力によりまして蓮沼地区も観光も一つの実績として観光の蓮沼を作り上げてきたのではないかと思ひます。そうした中でイベントについても十数回実施、これも観光の蓮沼だと外部に向けてのPRであり自分たちの祭りだとおらが町の祭りだと勘案いたしまして、それと同時に情報発信ということで一つの地域として、あるいは自分たちの誇りというわけではありませんがひとつの発展してきたんではないかと認識しております。今回の総合計画を見ますとそういった中で国をあげて今ビジットジャパン600万から1600万へ増やそうと観光化、非常に力をいれていると、県におきましてもDCキャンペーンで起爆剤として千葉県にもっと観光客を呼ぼうと、これはあくまでも費用対効果ではなくて未来への投資だという事で計画していることと思ひますが、3月の集計はまだ終わっていませんけれども2月については予想以上の集客をしていると県の方の発表がありました。このようなことを考えますと先日の</p>

<p>会長</p> <p>小川商工観光課長</p>	<p>山武市議会の市長の答弁で議員さんがDCキャンペーンの市の取り組みについてといったことについて、合併の混乱のなかで乗り遅れたと発言がありましたけれども、乗り遅れたことは事実かもしれませんが、始発に乗り遅れても2番電車3番電車に乗ることは可能であると私は判断しましてそういった意味で小さな自治体であっても観光という面では国あるいは千葉県そういったところよりはいち早く努力をしてきたと判断しております。そういった中で一つのイベント、小さいかもしれませんが考え方・実施計画等をお聞かせいただきたい。</p> <p>海については海浜公園、当蓮沼、それから整備された本須賀海岸、これは夏についてはメインの施設と思いますし、それから山武市に至っては成東のいちごですね、全国的にも相当知れ渡っています。それらを核としていち早く観光圏資源の掘り起こしということもありますけれども、やはり自ら住んでいる人たちが自分たちが住んでいるところはいいところなんだと、ここには温泉もない、施設がないからということではなくて観光というのは輝いているものを観ると書きます。そこで額に汗して働いているところを何もこういう世の中、温泉おいしいものだけが観光ではなくて自分たちが住んでいるところでどういうおもてなしをするか、どんどん裾野をひろげて成田空港を後背地に控えておりますから、すばらしい発展がありますから、観光行政全般、イベントに対する考え方ともどもお聞かせ願えれば、市の新しい取り組み等、蓮沼少ない人数でしたけれども、新たな努力をいただいておりますことはこの席をお借りしてお礼申し上げます。よろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。いずれにしてもこの山武市の中にあつて観光という産業は重要な位置づけをしていい産業と私も認識いたしております。農業と観光と工場進出をこれからさらに新しく行うということはなかなか難しい問題を含んでいることと思います。観光というのは外から富を持ってきて地区の中へストックしてそのストックされたものの1.5倍くらいの経済効果を持っていると聞いていますが、いずれにしても事務局から秋葉委員のご意見について、ご回答いただきたいと存じます。</p> <p>はい。商工観光課の小川でございます。秋葉委員の質問の趣旨としては2点ほど出てきたと思います。1点目は旧蓮沼村でやられてきたイベントの考え方、それと、新しい山武市になつての観光のあり方と言う点かと思えます。まず最初にイベントの方の考え方を申し上げさせていただきたいと思えます。当然ながら4町合併して新しい予算組みを19年度したところです。その中で経済産業からみの予算の財源枠が9000万円削減しなければならぬという中で商工観光課として摸索をさせていただきました。どうしても優先順位を付けざるを得なかったと点でイ</p>
---------------------------	---

ベント事業、私のほうで昨年組み入れさせていただいたイベント事業といたしまして、夏に行われましたサマーカーニバル、それと産業関係で行われましたけれども、一緒にやろうということで産業祭り、旧の山武町さんで過去7年位やられてきましたイベントですけれども、ライトフェスタ、山武の森にある塔の回りをイルミネーションで飾る、そして皆さんに観ていただく、それと春、まさに3月の時期にJRで行われる駅からハイキングというJR主催のイベントがあるわけですが、それに便乗した形で菜の花祭りをやろうということでこれは旧成東町がおこなっていたもので、この三つを18年度やった中で、こうした全体の中からどうしても優先順位を付けざるを得ないという点で、サマーカーニバルは620万、昨年、18年ですね、これからどういうイベントの仕方がいいのかと、摸索をした中で、200万の予算を計上したということです。考え方としましては、他のイベントもそうなんですけれども、観光事業として行う場合の考え方の中で、先ほど秋葉委員から出ましたけれども、地域のおもてなしをすると、地域の人が参加したおもてなしでよそから来た人に満足して帰っていただく、またその方がまた来たいねということでリピーターになっていただくという趣旨を私のほうでは持っています。そういう中で生きますと、金額が大きいから小さいからという考え方よりも、地域の皆さんがどれだけ参加できるか、地域の特色がどれだけ生み出されるのか、そういう点が、19年度、今、私の方で考えている内容です。これにつきましてはできれば実行委員会というものを特定の団体だけを作るのではなくて、誰でも手を上げていただく中実行委員会が組織され、それぞれの役割分担の中で、準備または実施ともって行けばこれが最高のもてなしになるのかなどその達成感は非常に大きいものがあると、それはいままでの中でライトフェスタについてはまさに山武町さんの商工会の青年部の方々が2～3名の方が発想した中で今、輪を作って、毎日のように夜、会合をし、準備をして、お金をかけないでやっている。ですから50万の予算、昨年はその他に旧山武町さんの方でふるさと祭りというものがあつたようで、その花火代が100万というものがあつたので、それをあわせて昨年についてはライトフェスタ150万の中で組ませていただく、その中でライト、いわゆるイルミネーションが老朽化してだいぶだめになったということで、約50万ほど買わせていただいた中で、後はほとんど手作りの状態でやる、これが本当のイベントの組み方かなと思っています。このイベントの中でも私どもの中では観光というそのポイントを作りましたので、昨年の試みとしまして今もやっていますけれども千葉フラワーバスさん、これが浜松町から成東まで直通バスを運行されているわけです。そこに広告として私のほうに載せていただき、中に時刻表を入れるこ

とで無料で広告ができるということをフラワーバスさんと話をさせていただき、今は浜松町の1階のところに掲示板があります。フラワーバスさんのご好意で1ヶ月間1万円で掲示させていただいて、2か月分、2月3月とポスター、そこに時刻表を含めて山武市の方に来ていただくというようなやり方をさせていただく。ですからこれからまだ摸索中ですが蓮沼さんのこのイベントについても当然そういう趣旨を踏まえた形でこれから準備に入らせていただく。ですから4月早々には実行委員になる方の募集も行いたいと。それぞれの人たちがそれぞれの思いでやっていくというふうに考えているところです。2点目の全体の観光の事柄ということで、4町村いろいろ私個人的にも何が観光かなとわからない点が確かにあります。そういう点で昨年11月に全国の観光協会という組織がありまして、その中のアドバイザー制度というものを活用させていただいて、たまたま城西国際大学の観光学部ができて、そのアビル先生という方に来ていただきまして、この4町のその観光または観光になれる資源というものを2回ほど調査をかけさせていただいてようやく報告書が来ましたので、これを後で概要として両観光協会の役員の方にもお示ししたいなど。その中で先ほど秋葉委員が言われたように地域の皆様が観光資源であるということがまず見られる、それともう一つはこれからの観光というのは施設を作ればいいということではなくてゆとりと健康だと、言う点が2点目に挙げられています。国においてもグリーンツーリズム、エコツーリズム、そしてブルーツーリズムというようなものの考え方をもっと導入してくださいというふうに来ておりますので、その点をこれからは重視したいと思っております。4町のそういう風なことを考えますと海、いわゆるこの田園風景、山武さん松尾さんの山とこの3つの要素を組み合わせるネットワークが必要でしょうと提言をいただいておりますので、施設を作るということよりも、ゆとりと健康ということをキーポイントにこれから考えていきたいと、もう一点は成東海岸については整備をしながら今管理を山武市が受けています。本来ならば海岸については千葉県知事の所管事項でありますけれども一定の要因を含めて管理ができると判断された場合は海岸法の規定で管理の委譲が受けられるということで13年度、平成13年度に旧成東町が県から委譲を受けて現在整備、また清掃その他もろもろの活動をやる、そういう意味では蓮沼海岸についてはまだそこまで至っておりませんので、今年度委託をかけまして、そういう面とさきほどちょっと秋葉委員から出ましたように保安林の幅が非常に多いとそこと横たわっている2~3キロにわたる海浜公園それとこの田園風景そういうものをマッチした形でのその提言といいますかステージといいますか考え方をその中に取り入れて海岸のあるべき姿、残念ながら侵食さ

	<p>れている点がありますので今工事をやっているかとおもいますけれど一部一トン土嚢に積み上げた砂の流失を防止すると、言うような工事をいまやっただいております。その後背地における土地利用というものも考えていく。先ほど出ましたようにやはり成田空港、はにわ道路を使うと、シャトルバスも運行されていると、成田空港周辺の事業の中で約10万人位ですね、動きがあると聞いております。その中でやはりそれを利用するような形での観光資源を摸索すべきだと考えておりますので、その際には蓮沼地区の観光というものは農業も商業も含めて、観光要素があると私の方は認識してこれから進めていきたいと考えています。以上であります。</p>
<p>会長</p>	<p>それではこの問題について皆様とご議論をいたしたいと存じます。どなたかご意見がありましたらご発言をお願いします。まず秋葉委員よろしいでしょうか。</p>
<p>秋葉委員</p>	<p>いずれにせよ観光資源は山武市さんでいろいろ見方があると思いますけれど、今日は蓮沼の地域審議会ということで蓮沼に住む住民といたしましては前倒ししての4月からの出張所化、地域住民の他の方も言われましたけれども、道の駅を作っておいてよかったなど、あれがなければ、経費削減で本庁の方にかれるのはいいですけども、あれがなかったら北のはずれというか道の駅がなかったら町そのものが地区そのものが錆びれてしまう。道の駅に車が停まっていると、道の駅にお客さんがみえていると自分たちのなんかすくいを感じるとこれは蓮沼に永く住んでいるものとして一抹のその、そういった中でサマーカーニバルの予算削減だとますます寂しさを感じざるを得ないと時の流れといえましょうなんですけど、先ほど課長がおっしゃったように農業商業観光と商業そのものも蓮沼はお客さんが外からなかなか国道、駅周辺に集まっていくことを考えますと人口が増えない中ではやはり外部から呼んでこなければいけなかったと。商業そのものもやはり観光とリンクしなければいけなかったという姿勢があったわけですね。そういったところで観光それはわれわれの先輩たちが九十九里地域でも胸をはってありがとうございますといたいのですけれども、そこをどうしても切りはず事はできない、まして山武市に変わりましたがサマーカーニバルの集客、対外的に見ましてもやはり市内の最大のイベントなんですね。逆に住むものとしては山武市になったからには逆に他の3町の皆さん方にもっともっとスケールアップし、あるいは一日だけのイベントではなくて、そういった形で協力していただけるようになればいいかなと思っています。</p>
<p>会 長 浅野委員</p>	<p>浅野委員どうぞ。 ただいまあの会長の方から色々詳しいご意見をいただきましたけれども、うちの方の秋葉委員からございましたとおり蓮沼という旧蓮沼は当時あの役場に2年間ほどいたことがあるの</p>

<p>会 長</p>	<p>ですけど、村長が浪川、前の村長のおじいちゃんがやっていたわけですね。その当時から蓮沼は観光というものに目が覚めて海におりるのに砂浜は夏は熱いということで、歩けないから国鉄の旧国鉄の方から枕木をいただいてきまして、ずーっと敷いた経緯があるんですよ。そのころ私は商工会青年部にいた当時、その時蓮沼で初めて盆踊り大会をやった経緯があります。そのときは青年部の会員も多くて、55～56人いたのかな。そういう時に一つ皆で盆踊り大会でもやろうかと、そういうことでそれが始まりで当時は予算も何もない、20万か30万ですね、当時それでも非常に評判がよくて皆に喜ばれて非常によかった経緯があります。それをみた議員さんたちが大変だから村の予算で応援しようということでその当時50万の援助を活かしまして色々企画をしたわけでございます。その経緯がございまして、蓮沼村制の110周年ですか、100周年記念の時に始めてサマーカーニバルと名前を変えまして、現在のサマーカーニバルになったわけでございます。その当時のサマーカーニバルの会長が前の会長の伊藤製麺さんの伊藤正さんが会長をやっている、私副会長をやっている、その当時すばらしいイベントであったわけですね。その後いろいろ企画いたしまして今までの観衆が3万人前後来ているのではないですかね。そうゆうそこまで来た訳であります。道の駅のほうも私が商工会長になりましてから、蓮沼の産業の活性化ということでいろいろやった経緯がございまして。その後いろいろやった訳でございますけれども、なかなかはかどらなくて、同士であります浪川さんを村長に推してそれで産業の拠点作りということで今回の蓮沼の道の駅ができたという経緯がございまして。私どもも行政が思っている以上に我々地域としてもいろんな面で蓮沼を何とかしようということで盛りあがってここまで来た経緯がございまして。それと私商工会にあってもいつも観光は商工観光ということで農業を含めた観光ということで私はやってまいりました。そういう経緯がありまして道の駅があるわけでございます。それをみますと一つの蓮沼は小さい村だけにあったところがある。それが今度合併になりまして、先ほどの説明では予算が200万ついと。それは致し方ないと思っておりますけれどもやり方でいろいろできると思っておりますけれども、今までの経緯を理解いただきまして、蓮沼だけではなくて地域が一体となったやり方があろうかと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思っております。以上です。</p> <p>それでは私の方から2～3質問させていただきます。今まで600万程の予算を組んでこのイベントをしていました。この地域にとって観光という産業が大切であるという思いを込めてこれに十分見合うだけのお客さんが来てくれて経済効果があるという判断のもとでおこなってきたわけでありましてけれども、今回200万という連絡がありましたね。それはさまざま事務局の</p>
------------	---

小川商工観光課長	<p>方のお話ではいろいろありましたが、それでも将来にわたっても200万ということはどう。それが第一点。その辺どうでしょう。</p>
会 長	<p>将来的にどうかということは今私の方からお答えすることはできないと思います。ただ、今言われたように夏のイベントというものの位置付けが先ほど出たように観光客として来ていただいた方のおもてなしイベントという考え方であるとすれば、予算がいくらかであるかということよりもそれを続けることの意味はあると思っています。620万という予算は私の方から聞きたいんですけど、私の方で気にかかった点はですね、イベントの大半について、よその方のお客様というか、やっていただく方に相当お金がかかっている。それはですね、逆に地域の方が持っているものを出しあっていくようなことでそこにふるさと意識というものを逆に持っていただく、観光客の方に持っていただくという点を今年度私のほうとすれば重視した形でおこないたいと。ただイベント屋さんにとのんで来ていただいて帰っていただくということも、確かにそれはそれとしてあったかと思えますけれども、それよりも先ほどアビル先生がおっしゃった地域観光という点を私のほうとしては重視したいと。地域の方で今までカラオケをやられる方、舞踊だとか、伝統的なものも持ち寄った形のイベントができないか言うのが実は主にしたい。その中でお客さんにふるさと意識を持っていただいてまた来ていただく、こういう点があればお金の大小ではないんですけど、私の方では考えています。</p>
小川商工観光課長	<p>そうするとこの事業は将来にわたって継続するという事は確かだね。</p>
会 長	<p>ですからその観光の一つとしての位置づけと私たちは考えています。夏における観光客の6割7割は海水浴客、ですから日帰り客が多いわけです。それで滞在型という、成東よりも蓮沼さんのほうが宿泊施設が多いわけですね。ですからそういう方が少なくても機会を捉えて泊まっていただく中でそういう位置づけをするのであれば、観光イベントとしてはそれはありえる。</p>
会 長	<p>実は私は蓮沼の観光を開発した証人でありまして、私の方の蓮沼の審議会としては将来にわたってもこのイベントは続けていくと気持ち、それはたぶん変わらないと、それから200万という枠が将来にわたってこれが地元の中の実行委員が様々な議論をしてそれが市のほうの思い、観光に携わっている方の思い、それから蓮沼の人たちの思い、それをもう少しつめ直して、とりあえず今年は200万でありますから、これはこのことについては、もう一度詳しく検討し直したり何かをして、お互いに市のほうと話し合いをしていくという方向でいいですか。ご提言をさせていただきます。</p>

小川商工観光 課長	それはですね、十分に提言していただいて、総合的に判断すると。ただ一つだけ言えるのは成東にもあるだろうし、蓮沼だけでいいだけという今この段階では申し上げられません。
会 長	<p>私が今申し上げているのは蓮沼だけの観光を主としておこなって欲しいということではなく観光という仕事は蓮沼一地区だけで成り立つものではなくて、山武市の中でパッケージとして例えば私はこの合併ができたときにね、蓮沼の観光にとって大いにプラスになるなど、伊藤左千夫というとてもないネームバリューを使える。今まで蓮沼ではパンフレットの中に伊藤左千夫というものをいれることはできない。だけれども今度この地区では当然入れられる。お互いに補完関係があるわけですから、もちろん成東や松尾と相談していただいておこなって行くということで行くことは大事なことであります。それから、マーケットは東京にある。実はこの前の東金との合併協議のときに九十九里という名前について個人的に東京の江戸川区から千葉県よりのところにアンケートを個人的にしてみました。九十九里という名前を知ってますかと言うと90%の人が知っているといっていましたよ。何でご存知ですかとお聞きすると海に行きましたと、その次にね蓮沼と聞くと蓮沼の海というのも50%位だったかな。東金や成東よりもずっと高かったですね。それで海というものは力があるなど。でありますから観光について言えば、これからも蓮沼だけではなくて山武市としての重要な地位を占めていると認識をしていただいて、これからそのイベントをする重要な産業でありますけれども、そのようなことについてもきちんと勉強をさせていただいてご提言をさせていただきたいと考えています。</p>
秋葉委員	<p>イベントについては観光のおもてなしという考え方で批判することもなく同意見なんですけれども、蓮沼の中で長い歴史のなかで我々ずっと検討してきました、人の少ないなかでどなたも参加できてかつ本来ならばおもてなしという意味で観光客を集めるのならば本来ならばオフシーズンの方がいいんですけれどもやはり小さいところでやるには夏に来ていただくほうがいいだろうと、そういう過去の中から現状に最大公約数的なイベントで落ち着いたというのが実際でありまして、今回山武市になったイベントについての捉え方は、山武市というのはどこにあるんですか、ヤマタケシといわれるくらい。山武市の将来に向けてやはり人口が増えて税収が上がらなければしょうがない。住んでみたいというふうにもって行くにはやはりせつかくイベントがあるんだよと。やはり時代がそうですから山武とはどういうところなんだよと全国に少しでもわかっていただいて、滞在型農業、そういうような方針も出てくるでしょうし、今日向台の方に新しい住民の方々もそこに住んでみたいとものと山武市がPRできるでしょうし、蓮沼地区にあったものを核と</p>

<p>会 長 土屋委員</p>	<p>してできたらいいなと私は思っていますので、山武市をやはりみんなが住んで誇りに思えるようにもっていったらと観光に携わるものとして触れさせていただきました。</p> <p>土屋委員どうぞ。</p> <p>私はいままでいろいろ合併の会合に参加しても合併反対ということで。蓮沼村は確かに財政規模が低かった。だからという理由で合併に加わったわけですけれども、やはり合併をするといろいろな事情でこのような問題点として取り上げられるのは仕方のないことだと思いますが、蓮沼村は郡内でも飛びぬけて福祉に予算配分を持っておりました。このようなよい面がままならない状況になるであろうというような事、反対したわけですが、ゆくゆくは16年後には東金市と同じほぼ人口が6万1千ということで同じ規模ですから、6カ町村のほうが10で東金市が6の交付税ということを取り上げて反対してきましたが、現在は合併しているんですから、それをいまさらどうこうでなくて、住んでよかったというよりよい市にしていく。また市長もおっしゃっていましたが、第2ステージの横芝光町との合併は山武市が一体化して立派な団体で吸収合併をすると私たちも聞いておりますし、そういうふうになったときに各地域のこういう伝統的な問題なんかは消えないように行くという事は総務省の時の動きの2月号にもそういうことを述べておりますけれども、益々大事になっていくだろうと。</p>
<p>会 長 土屋委員</p>	<p>土屋委員。今その事についてですから私は申し上げているわけですから、その他にあるならばどうぞ。</p> <p>海の問題はね、成東海岸と蓮沼海岸と一番重要な資源という事で、会長がおっしゃったようにそういう色々なものを含めてアピールしていくと点で小川商工課長さんもいろいろと工夫されているようですし、議会でも取り上げられている広告アピールという面も言われているのでそのような事を期待しながら今後これはなくさないで行くという方向で。</p>
<p>会 長 土屋委員 佐藤委員</p>	<p>それは確認させていただいてありますから。</p> <p>審議会の目的は地域の要望ということで同じ4ヶ町村の各地域であると思えますから、今後そういうものを一体的に融合していただければ当然、蓮沼の要望がなくなってしまうということはないと思えます。それが合併の約束ではないか思いますのでひとつ今後もそういう面で努力をお願いします。</p> <p>佐藤です。先ほど市当局の課長さんが蓮沼海岸には海がある、保安林がある、これを自然の恵みとしてそこに農工商生き生きと働く人たちを合わせて観光資源として考えるというお話がございましたけれども、問題があるのではないかと。私はこの3月で区長のきげんですけれども、先日区最後のミーティングをしたときに農業の色々な委員をしている専門の農家で若い方というと、今、椎名委員がいらっしゃいますけれども、あ</p>

	<p>る役員を4期1期3年で12年やっている。だいたい同じような感じで結局留任という事で新しい人たちに譲れなかった。商も同じような事で蓮沼の海岸と岡通りに3軒ないし4軒の個人商店がありますけれど、そのような中で生き生きとした蓮沼の農工商で働く人たちを見つけていく事は大変むずかしいことであると。お話を聞いているといい事を言っていると思いますがそういう問題点もありますのでそういう点もお考えいただきたいと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございます。ほぼこの観光イベントについては議論が終わったと存じます。次に移る前にもう一度確認したいと思います。この問題について、私たちも重大な関心を持って取り組んでいくという事で皆様のご同意をいただいたという事があります。</p>
<p>小川商工観光 課長</p>	<p>どうもありがとうございました。また何かあればご相談させていただきます。</p>
<p>会 長</p>	<p>それでは議題1の方の平成19年度主要施策について事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
<p>石田企画政策 課長</p>	<p>企画政策課の石田と申します。それでは私の方から19年度の主要施策についてご説明申し上げます。最初にお断り申し上げますけれども資料なんですけれども先に送付した資料と今回の資料が変更になっております。新しい変更分という事で説明させていただきます。お手元のほうに配られています資料1変更分で説明させていただきますのでよろしくをお願いいたします。</p>
<p>土屋委員</p>	<p>少し長くなるので座らせて説明させていただきます。 この資料はあらかじめ勉強してきなさいという事で私がんばって夜の11時ごろまで読んできたので、こういうのを時間の無駄というので。</p>
<p>石田課長</p>	<p>大きな変更はないんです。中に文言がもれてしまっているものがありますので、今回追加をして変更という事で配らせていただきましたのでよろしくお願いいたします。 大きな変更はございませんので。この主要事業の説明資料の中から特に一般会計につきまして主要な部分について説明させていただきます。それでは1ページ目をご覧くださいと思います。まん中辺に一般会計と出ておりますけれども予算の規模ですけれども予算の規模につきましては前年度と比較しまして3%増の205億5千万ということで計上しました。この増加した主な要因でございますけれども、蓮沼小学校の講堂、それから成東小学校の屋内運動場の建設、それから農村総合整備事業ということでこれは環境関係の事業なんですけれども排水をきれいにして流すという事業でございます。それから公債費これは借入金の返済にかかるものなんですけれども、そういうものが増になったというのが主な理由であります。それから予算の特徴でございますけれども、一番目としましては、</p>

堅実な財政運営を基本としまして、合併したメリットを最大限に活用し、一体的な町づくりを推進するため総の国交付金、これは県の方の交付金でございますけれども5年間で7億円まいります。1年間に1億4千万円づつままいります。5年間で7億円という補助金でございます。それから有利な合併特例債などの財源を効果的に取り入れたという事でございます。それから2番目しまして合併前から継続的に実施してきた事業については全体の状況を考慮した中での的確に予算措置するとともに山武市として一体化を図るため必要な予算を計上いたしました。3番目といたしまして国の施策であります三位一体の改革の影響や県の財政動向を踏まえまして、財源を見込んだうえでなお不足する財源については基金の取り崩しを行って均衡を計りました。それから2ページ目でございます。歳入の関係でございますけれども、歳入の主な項目でございますけれども、特に市税でございますけれども市税につきましては所得税国のほうの所得税のほうから市の方の個人市民税の方へ税源委譲がございました。それに伴う増、それから景気のゆるやかな回復傾向から法人市民税の増を見込みまして、約6億9千万ほどの13.2%の増で59億4400万の計上をいたしてございます。それから地方譲与税でございますけれども、三位一体の関係ですとね国の所得税が市民税の方へ移行されたという事で国のほうで譲与を受けておりました所得譲与税というものが廃止されました。という事で4億2700万ほどの減で4億5千万を計上いたしてあります。それから地方交付税の関係でありますけれども、地方交付税につきましては普通交付税と特別交付税と別れますけれども普通交付税につきましては新型交付税の参入の方法を取り入れまして、合併による普通交付税の算定特例という事でこれについては10年間ですとね、それぞれの旧市町村単位で計算した交付税がそのまままいりますけれどもその関係を考慮し、前年度に比べ1億2千万の増の50億9000万を予定してございます。それから特別交付税につきましては合併に伴う特殊事情の参入を見込みまして1億3200万の増の5億2500万の計上をいたしてあります。それから真ん中へんでございますけれども繰入金の関係でございますけれども繰入金につきましては不足する財源を補うためにですね財政調整基金のほうから16億2770万を繰り入れまして18億1900万ほどのですね貯金からの取り崩しを行います。それから一番下の市債ですけれども市債につきましては学校関係の施設、先ほどの蓮沼の講堂だとか、成東の小学校の体育館関係の教育債、それから合併特例措置の地域振興基金ということで、この基金はですね合計で27億9000万ほど積立ができるわけですけれども、18年度で10億、19年度で10億の借入れを起しまして積み立てる予定であります。これは合併の特例債を使うという事でもあります。そういうものを含めまして20億780万を計上し

てございます。それから歳出の方へまいりますけれども歳出のほうで目的別歳出という事で総務費の関係でございますけれども、先ほど出てまいりました地域振興基金の積立、これ10億でございますけれども、これ10億積立を積み立てる予定でございます。その95%を特例債で借入れを起こして10億を積み立てる予定でございます。それから仮称山武の森交流センターの整備事業ということで、これは旧山武支所の近くにですね市民の方に使ってもらう山武の森交流センターというものを計画してございます。その設計の費用を計上してございます。それから、共同利用施設整備事業ということでこれは原横地地区でございますけれども、騒音下にあります原横地地区にですね、成田空港株式会社から交付金をもらいながら整備をして公民館の整備をしていくというものでございます。そういうものを含めまして総務費では37億5千万ほどを予定してございます。それから民生費の関係でございますけれども民生費の関係は社会福祉協議会への補助金を含みます社会福祉総務費、それから障害者自立支援事業、保育所運営事業それから児童手当の支給事業、それから生活保護費、並びに各特別会計でございますけれども国民健康保険の特別会計、老人保健特別会計、介護保険特別会計への繰出等で46億1500万程を計上してございます。3ページにまいりまして、衛生費でございますけれども衛生費につきましては乳幼児医療の対策事業、それから老人保健、山武郡市広域行政組合これはし尿処理分でございますけれども、それから山武郡市広域水道企業団、国保成東病院、東金市外市町清掃組合、山武郡市環境衛生組合への負担金、それから水道事業会計への、これは旧山武町でございますけれども、水道事業会計への繰出金等で27億7400万程を計上いたしております。それから農林水産業費でございますけれども農林水産事業費につきましては広域農道の整備事業、それから農村振興整備事業、さきほど出てまいりました排水を農業用水等にですね流す場合に排水をきれいにして整備をして流す事業でございますけれどもその事業、それから経営体育成基盤整備事業、旧松尾地区の土地改良の事業でございます。それから農業集落排水整備事業の特別会計への繰出金という事で9億8千万ほどを予定しております。それから商工費でございますけれども商工費につきましては商工会の運営費の補助金、商工業振興事業、中小企業運営資金利子補給補助金を含みます中小企業の振興事業、それから海水浴場の安全対策事業、海岸維持管理事業という事で、1億5800万程を計上してございます。それから土木費でございますけれども、土木費につきましては地籍調査事業、これは旧山武町地区でおこなっている事業であります、道路維持補修事業、幹線道路の整備事業、生活道路の整備事業、緊急地方道整備事業、排水路整備事業、及び県の作田川改修に伴います橋梁の架け替え

工事の負担金、これは県の事業で行っておりますので、県の方へ負担金という形で支払います、を含みます作田川関連の市道整備事業、街路事業などで13億8900万程を予定してございます。消防費でございますけれども、消防費につきましては常備消防ということで山武郡市広域行政組合の負担金、それから消防団の運営事業、消防ポンプ自動車の購入等で9億9000万程を計上してございます。教育費でございますけれども教育費につきましては各小中学校や幼稚園それから社会教育施設の維持管理費、それから老朽化に伴います蓮沼小学校の講堂、成東小学校の屋内運動場の建設、それから山武南中学校のエレベーターの設置、これは山武南中にたまたま障害をもったお子さんが入学されるという事でエレベーターの設置が必要になったという事で設置をするようでございます。このような学校施設の整備事業、それから成東中央公民館の用地取得費、成東中央公民館の一部借地があるようでございます。その借地を購入するという事のようにございます、を含みます公民館管理費、それから給食支給事業などで31億7000万程を見込んでございます。それからその下の性質別にまいりますと、性質別の関係でまず人件費でございますけれども、人件費につきましては在任特例が満了となりました議員数の減等によりまして、前年度と比べまして1億4600万ほど減額となりまして、44億530万程を計上してございます。それから扶助費でございますけれども児童手当制度の改正という事で一部金額が増になったという事がございます。その関係の支給額の変更、それから障害者自立支援事業という事で前年度に比べまして2億1900万ほどの増の16億9900万を予定してございます。それから公債費でございますけれども公債費につきましては15年度に借入れを起こしました臨時財政対策債の元金償還が始まったという事で、前年度と比べまして1億4400万ほどの増でございます。24億3500万を計上してございます。それから物品費でございますけれども物品費につきましては清掃委託料や水質検査委託料の各種委託料の見直し、それから消耗品を始めとする需用費の節約によりまして、前年度に比べまして3億4800万ほどの減額をいたしまして33億2400万ほど計上してございます。それから補助費等でございますけれども補助費等につきましては広域行政組合への負担金、環境衛生組合への負担金、東金市外市町清掃組合への負担金、それから広域水道企業団への負担金などが主なものでございます。前年度に比べまして2500万ほどの増で33億4400万を計上してございます。それから積立金でございますけれども、先ほどらい出ております地域振興基金への積立をおこないます。10億3800万を予定してございます。それから繰出金につきましては各特別会計、水道事業会計への繰出金で14億6900万でございます。普通建設事業と言う事でこれは工事費関係ですけれども補助事業費

<p>会 長 木島委員</p>	<p>としまして学校施設整備事業における蓮沼小学校の講堂の建設、それから成東小学校の屋内運動場の建設、その他に例年行っております合併処理浄化槽の設置の補助金等ございます。また、単独事業では環境配慮工事、これはアスベスト関係でございますけれども、この工事が減となりました。それで道路排水整備工事、道路改良工事、交通安全施設の工事などが主な工事費となっております。この結果、普通建設事業では前年度と比べまして6億250万ほど増の24億1400万の予算を計上いたしております。特別会計については説明のほうを省略させていただきまして12ページをご覧くださいと思います。ここに12ページに歳入の内訳が載っております。この中で特に三位一体の改革によりまして、変更がありますのでそのへんについて説明させていただきたいと思います。まず市税でございますけれども、一番上の市税でございますけれども、59億4444万3千円を計上いたしております。これにつきましては前年度と比較して6億9098万6千円増ということになっております。その下に地方譲与税というものがございまして、これが4億5千万で逆に4億2700万ほどの減となっておりますけど、ここの国の方ですね、税源委譲によりまして国の所得税の一部を市の方に税源委譲がありましたので、税としては6億9000万増えておりますけれども、譲与税としては4億2千万ほど減となったという事がございます。それから地方交付税でございますけれども、地方交付税につきましては真ん中辺にありますけれども、56億1500万ほど計上してございます。これにつきましては2億5200万ほどの増という事でこの辺については合併の効果が出ているという事で増となっておりますということでございます。それから20ページをご覧くださいと思います。基金の状況でございます。これがいわゆる貯金の部分なんですけど、さきほど財政調整基金を取り崩しをして不足する財源にあてておりますけれども、今年度は16億ほど財政調整基金からの取り崩しを見ております。この真ん中辺に18年度末の見込み額というのがございます。この上の財政調整基金をみていただきますと、18年度今年の19年3月末の見込みなんですけど42億8494万9千円の見込みです。19年度中にこの取り崩しが16億2770万1千円ほどございます。そうしますと、19年度末の見込みとしては、26億6910万9千という数字金額になってまいります。このような形の取り崩し16億程度の取り崩しを20・21でほとんど基金がなくなってしまうというような厳しい状況になっておるということでございます。以上早口で雑ばくな説明でありましたけれども、こちらの方の説明を終わらせていただきます。</p> <p>ご苦労様でした。ではこの議題についてご意見をいただきたいと存じます。どなたか、普通建設事業、扶助費、公債費と細かく説明をいただきまし</p>
---------------------	---

<p>石田企画政策 課長 会 長 石田企画政策 課長</p>	<p>たが、5番目の維持補修費がかなり増額しているんですね。この部分だけ説明が飛びましたので、5番目の維持補修費がこの辺の金額でずっと続いていくものなのか、19年度だけ増えているのかその部分はどうなんでしょうか。</p> <p>すいません。この部分については調べさせていただいて、後ほど回答させていただきたいと思います。</p>
<p>土屋委員</p>	<p>蓮沼小学校の講堂がはいっているのではないの。</p> <p>普通大きな工事については、普通建設事業費という事で維持補修費ではなくて工事のほうに入って来るんですね。小さな修繕などがこの維持補修費に載って来ますので維持補修費が増えた理由は財政課に問い合わせをしますので申し訳ございませんが。</p> <p>特別会計の農業集落排水事業についてはこの前、飯島さんから蓮沼の方でもそういうのをお願いしたらどうだろうかという発言に私がちょっとお金もかかりすぎるのでという発言をしましたが、今回具体的に数字が出ているのを見て皆さんもおわかりのよう非常にお金がかかる。もちろん国県から国が50%の補助金、県が20%というのが大平地区時代の松尾の時代で、成東町は今度は県が財政難ということで10か15、ちょっとどっちかうっかりしましたが、予算措置が補助が少なくなりまして、大変持ち出しが多くなったと思いますが、合併に際しての各4か町村での集落排水事業の項目について現況はどうであるかと、成東では県が認可したと、まず大富地区を始めとして津辺、駅の近くのほう、それからだんだん海岸地区を方に地区を拡げて行く予定なんです、採択というのは一つ一つなのか全体として採択されるのか、あと山武町としては27年度目途で横田沖渡地区というのを予定している。松尾は大平地区と武野里と北清水横芝地区、今現在、広根ですかやさいの里の上のほうでやっていますが、今度大平地区をやるというような状況で、松尾としては次は上のほうも予定はしていたそうですが、ここで今回、大変お金がかかるという事で財政が非常に厳しいという中でこのような大金をこれからも採用しながらやるというのは、補助があるからやるというのは夕張市の例もありまして、取り上げられるんですけども、確かに水をきれいにして環境を浄化する目的は立派なんですけども、現状が財政が厳しい中で公共下水道というのはこの辺では東金市だけです、他では合併浄化槽、現在は普通の単独浄化槽はできません、新しく建築するとか作りかえる場合は合併浄化槽、これは補助金が出ますね、これは4か町村で調整したところですね。それからもう一つが農業集落排水事業という事で大富地区を通った方は旧道でやっているのをわかっていると思います。これからこういうのをやっていくと大変お金が出て、一度これをやったら続けてやるのではなくて評価をある程度するというか大平地区のですね、例え</p>

	<p>ば目標は農林水産省からお金を出している事ですから、結局農業用水をきれいにするというのが大目標なんですね。結果的には側溝を流れる水は雨水だけということになりますので、相当側溝はきれいになるというメリットはあると思いますが、小川のほうは借毛本郷とか広根のやさいの里の上で浄化しても川に流れてくる水は上流からずっと来るわけですから、上流の方もやらなければ蓮沼のほうに流れてくる水はきれいにならないということで蓮沼の方も取り組むとなると1軒で30万のまあ6万ずつ5年間くらい30万位払う事を参加する地区が採択をされますとそこでは参加しない人は合併浄化槽を新たに作っても補助金をもらえない。合併浄化槽に対する補助金がもらえないというような付帯事項がついてきたりしまして、相当問題点が現在やるにはあるのではないかと。公共下水道は現在は無理ですがまあ合併浄化槽を中心とした浄化によって当分は進めたほうがよいと。</p>
<p>会 長</p>	<p>いまお話のありました採択についての問題が一件と、あとは上のほうの松尾の地域について、水をきれいにしないと我が方の水はきれいにならないんで竣工してくれという事かな。</p>
<p>石田企画政策 課長</p>	<p>新市になって新しい下水道計画を作るという事になっています。その計画によって、例えば人口の集中している地区では公共下水道で行くんだ、農業の集落のあるところは農業集落排水にする、それからかなり一軒一軒の離れている公共下水や農業集落排水とかができないところは合併浄化槽にするというような市の下水道計画を作っていくという事になっています。その中で全体的な下水の計画を作っていくという事になりますので、総合計画の中でですねその辺の位置づけをしながらですね作っていくという形になろうかと思えます。</p>
<p>会 長</p>	<p>農業集落排水について申し上げれば一般会計からの19年度の繰出についていえば1億7900万円位しか繰出されていけませんのでその運営についてはそこに加入する人たちが直接管理を行っておりますんで、そこに加入している方々に、組織として努力をしていただきたいと思えます。</p>
<p>土屋委員</p>	<p>集落排水については、合併特例債を使ってできるのではないかと。しかし合併特例債の現状からいって少し無理があるかなと思えますが、松尾のある方から相当お金がかかるので、合併浄化槽で当分はやっていくのが現在の日本の状況から言ってしかるべきではないかと、しかしそれぞれの省の考え方で違っていくのが現状だと思えますが、松尾町の担当に聞いたら、とても今、そんなところではありません。予算がないからできませんということを知っていて、そのような話し合いになっているのかと事実はなっております。今回、いっぺんに全部にやるということはとてもできないし、成東がやっていることを山武市全体の税金が使われると、もちろん、参加する人は金を出すんです</p>

<p>会 長</p>	<p>けど、そういう特別会計ですから、全部やらないで様子を見て、大平地区のメリットや経済効果はどのくらいあったかというのをみながら続けていってはどうかと、それで総合計画などを見直してはどうかと。</p>
<p>石田企画政策課長</p>	<p>先ほど私が引き続いて検討していくと申しあげましたので、それでご理解をいただきたいと思います。あとがなければ私のほうから2点ほどお尋ねしたいと思います。歳入のところ、前年に比べ、ゆるやかな景気の回復傾向により13.2%の増ということでもありますけども、大体が税源移譲分であって、13.2%の伸びということではないよね。</p>
<p>会 長 石田企画政策課長</p>	<p>約6億が税源移譲だそうです。</p>
<p>会 長</p>	<p>そんなに個人住民税が伸びるの。</p>
<p>石田企画政策課長</p>	<p>約6億近くが税源委譲で、法人の場合は9千万近くだと思いません、法人税自体は。</p>
<p>会 長</p>	<p>それともう一点は、繰出金が14億ほどあるけど、だいたいこの位の繰出はこれからもつづくのかな。</p>
<p>石田企画政策課長</p>	<p>そうですね、繰出金の場合は、いわゆる負担金とかですね、特別会計とかの負担金ですが、おそらくこの位の金額は出て行く可能性はあります。それと、もう一点、一般会計から国民健康保険の方へ3年間5億円の繰出をして、2億2億1億で繰出をしています。この辺をどうするかという問題はあると思いますが、繰出金の場合はあまり変わっていくということは考えられないと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>あともう一点。これはこれから総合計画の中で議論されていくと思いますけども、かなり早いスピード感を持って機構改革というものが、進んでいくものと思いますが、そのときに小学校の子供たちの入ってくる人数がとてつもなく減って行きますね。消防の再編などもありますね。その辺のところはかなり工期の問題であって、地元との話し合いが大変だろうと思いますが、その辺のところはどのような感じに入っていくんでしょうね。</p>
<p>石田企画政策課長</p>	<p>そうですね、確かにその辺が大きな課題になっていくとおもいますが、学校の再編関係はですね、地域の方々の意見がかなり重要なウエイトを占めると思いますので、地域の方々と十分協議しながらですね、進めなければならないと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>それでは予算の件については以上で終わりにしたいと思います。次に山武市総合計画についてお願いいたします。</p>
<p>企画政策課越川副主査</p>	<p>企画政策課越川でございます。山武市総合計画について説明させていただきます。まず総合計画について説明する意図と目的でございますけれども、2点ほどございます。一点目。山武市総合計画の進行はいまどうなっているのか。2点目といたしまして、これから山武市総合計画はどのように展開していくの</p>

か。地域審議会の皆様には任意にご参加いただける、専門部会に加わっていただけます。私のほうで説明する資料でございますけれども、まず一点目が、新市建設計画主要施策ということでA4の将来像から基本理念、基本目標、主要施策をまとめたものであります。こちらはですね、山武中央合併協議会の際にですね、みなさまにお示しした新市建設計画の中から抜粋したものでございます。あらたに作成したものではございません。そして資料の2. 経営課題について、そして山武市総合計画における施策のくくりと施策案と主管課と関係課というものを記載させてもらった表がございます。結論から言いますと一番最後に説明しました総合計画における施策のくくり、この施策は六分野でございます。都市基盤、住民と行政、生活環境、産業振興、保健医療福祉、教育文化とこの6計画、そしてその脇にあります施策の名称、そして主管課関係課というくくりのなかで総合計画を構築していくというお話をさせていただきました。総合計画の策定にいままで地域審議会の皆様にかかわっていただいたかということの説明させていただきますと、昨年12月19日の第2回蓮沼地区地域審議会におきまして、総合計画基本方針案、あるいは総合計画策定スケジュール案について、ご確認いただきまして、趣旨といたしましては、自主独立の町づくり、誰もが幸せを実感できる町作りに向けて、計画づくりを策定する予定でございます。具体的にどのような総合計画にしていこうかということで、先ほどらい課長からお話がありましたように財政が非常に逼迫している、あと人口については調べたところによりますと、すでに山武市は平成13年、合併する前に人口のピークを迎えて、それから21年には57,000人位まで減っていく。人口の高齢化についても22.3%でしたっけ、それが27%まであがるという状況になります。その中で、いままでのようにあれもこれも予算取りになかで進めていくような事務事業ではなくて成果重視、取捨択一できる成果重視の事務事業を行う必要があるのではないかと、人、物、金こういうものを効率的に配分し、人づくりこういうものを総合計画に入れていく必要があるのではないかと、あと職員にもコスト意識、経営という意識を醸成させる必要があるのではないかと、何よりも市民の皆様には説明責任を果たす、どうしてこういう事業をやるんだと、どうしてこの地区ではこの事業をやるけどこの事業はやらないんだとそういうものが果たせるようなすっきりした総合計画、このようにしていかなければいけないのではないかと考えていきました。その結果がですね、行政評価を取り入れた総合計画の策定ということになりました。今年の1月30日に、組織の改正の説明と合わせまして、行政評価を活用した総合計画の策定について、地域審議会の委員の皆さんにも説明させていただいたところでありますけれども、従来の総合計画は具体

的にどうであったのかと、端的に言いますと文書中心の記述で施策ごとに何をするのがわからないということがあげられると思います。ある町の総合計画があつてですね、環境保全の推進という施策がございまして、何をするのかという事で、環境美化思想の普及と書いてありまして、内容は環境学習や美化運動を通じて、美化思想の普及を図ります。何となくわかるんですけども、この計画はよかったの、成功したの、何をやったのと、これはもちろん職員もわからないわけですから、市民の方はもっとわかりません。何となくそんなことをやっているのかなと、わかるんですけども、うまくいったかどうかわからないところが一番問題であったのではないかと。では、行政評価システムをを入れるとどうなるか、目的を明確化することができるということです。何をどうするか、誰をどうするか、こういう設定する事によって、目的を明確化して市民の皆様とも共有ができるのではないかと。そして長文ではなくて短文でぱっとわかるようにしていくことが可能になるのではないかと。2点目といたしまして行政の成果を文字ではなくて指標あるいは数値でしめしていくと、よくしていくよではわかりませんので、例えばゴミを削減しますよ、現状では何トンあったものを目標年次何年までには、何トンまで減らしますよという成果指標、成果を明確にしていく。もう一点はですね、経営戦略として資源配分をしていくと、これは取捨選択、何が重要なのか、あれもこれもではなくて、あれかこれか、優先順序を定めていくと。こういう効果が見込まれてくるのではないかと。こういうものを構築していくにあたって、職員の中では山武市役所の中ではどのようなことをおこなってきたのか説明させていただきますけれども、方向が決まりまして、2月7日から8日にかけて職員に財政状況やこの行政評価システムを導入する必要性をキックオフ説明会で説明しました。全職員対象です。ちなみに330名ほど、この会場もお借りしまして、参加してご理解をいただいたところです。その後、3月9日、13日、14日の3日間で先ほどお話ししましたけれども、施策設定会議というものを課長さん係長さんにお集まりいただきまして会議を開きました。ちなみに政策というものは大きなもので、行政として行う分野、基本方針を表したもので、今回の基本計画は6分野で進めていくというくくりの中で、課長さん係長さんお集まりいただきまして、まず現在における環境の変化、環境の変化には法律の改正だとか合併による影響等現場からの意見をですね、いただいて議論をいたしました。その現状を踏まえて主な施策の課題は何なのかとどういう課題があるのかとまとめました。それではこの施策はどこが主管課となってまとめていこうか、関係課はどこになるのかという事を議論してまいりまして、何度かお話ししていますけど施策のくくりという表になりました。総合計画

で具体的にどういうお話がでていたかといいますと、28施策ありますが、るるお話をしていますと時間がかかってしまいますので、最初に商工観光の話、秋葉委員さん、浅野委員さんからもありましたように商工観光の部分ではどんなお話があったのか、産業振興ですね、産業振興の分野ではどんなお話が出ていたかということでお話させていただきますけれども、主な政策に関する環境の変化といたしましては、ちょっと古いデータだったんですけども、農業に関してはですね、平成12年度17年度に比べますと10%近く人口が減っていると、60歳以上の農家人口が6割以上になっているよとなどという課題、イチゴとか新聞にも出ていましたけれどもねぎですね、ブランドもでてきましたよと、このような環境の変化がありましたよと、林業に関しては専門はいないと、水産こちらでは漁業従事者が非常に減っていると、平成5年には43人いた方が、平成12年には21名になっていると、漁獲金額、平成5年には1億1000万あったものが平成10年には3分の1の2900万円まで減っていますよという課題がでていました。あと観光ですけども、観光の入りこみ客数はですね、平成13年の150.7万人から186.4万人と増えていると、どういうところが影響なのかなというお話も出てまして、おらい蓮沼さん、道の駅、こういうものも観光入りこみ客には貢献なさっている、あとゴルフ場、そして夏の海水浴場は事務局のお話ですと微減傾向にありましたよという環境の変化がありました。これらに対して政策の課題はどうしていきましょうかと、まあ農業に関しては高齢化で後継者がいないため、未耕作地が増加していると、認定農業者という農業のプロこういう方を増加して集団化省力化を推進していく必要があるんじゃないかと、林業については林業再生、間伐材、被害木を炭にしてバイオマス等に活用していくことがいいんじゃないかと、水産については一人当たり百万位の所得でこれだけでは生活ができないという現況から、案ではですね蛤とかナガラミが特産であったが絶滅状態で所得減につながっている、何かこの辺にチャンスがあるんじゃないかと、逆にしますとね。観光は農業再生を含めまして山海だとか体験型でPRしていく、そして通年型こういう方向で総合計画も検討していく必要があるんじゃないかというお話が出ておりまして、冒頭お話しましたけれども、この地域審議会の皆様の活動になりますけれども、先ほど説明させていただきました施策のくくりでございます。この六分野、そして施策名称28ございます。主管課と担当課がこれからより詳しくですね、もっと数値を求めてですね、課題どういう方向でやっていこうかと事を検討してこれが5月にまた会議を行います。6月ごろにですね専門部会、まとまったものを行政として目につくったもの課題等をまとめたものを地域審議会にもまたもちろん、地域審議会のなかで見えていただく前に専門部会、

<p>会 長</p>	<p>これは任意でございますけれども、ご参加いただければ市民の視点でですね、この課題等にご意見をいただいて、構築していきたいという流れになります。以上雑駁でございますが、総合計画、現況とこれからの課題についてご説明させていただきました。</p> <p>ありがとうございます。ただいま説明のあった専門部会はこれはいつ頃までに、時間的にはどうなの。</p>
<p>石田企画政策課長</p>	<p>先ほど越川の方から説明したとおりですね5月にですね、この施策に基づきました基本事業というものを作ってまいります。それを委員の皆様にお示ししてですね、希望のあるところに参加してもらおうという形で、施策の下の基本事業というのを庁内で作ります。それを委員の皆様、作り終わって5月の下旬頃になるかと思っておりますけれども、それを委員の皆様方にお示ししますので、その中で希望をとって参加してもらおうということを考えています。</p>
<p>会 長</p>	<p>5月下旬にもう一度会議をしてそのときに説明をしてということですね。</p>
<p>石田企画政策課長</p>	<p>各委員さんにですね、通知を差し上げようと思っております。会議ではなくてですね、それで参加の希望を取りまとめて通知をさらに専門部会の開催の通知を出したいと思っております。</p>
<p>会 長</p>	<p>それでは5月下旬に希望をとる。例えばいくつかの蓮沼固有の問題として、こういう問題とこういう問題を取り上げてもらいたいというような希望というのは、その参加した専門部会の中で発言していけばいいということですか。そうすると、こっち側で意見としてこんな事とこんな事をまとめたいという時に議論して決めたほうがいいのか、それとも専門部会の中で直接意見を述べたほうがいいのか、どう思う。</p>
<p>石田企画政策課長</p>	<p>これはですね、具体的に地域審議会の中で議論をいただいてですね、決定したものについて意見書という形で出してもらったほうがですね、重みが全然違ってきますので、そういう固有のものがあれば地域審議会の中で決定をいただいて、会長さんのお名前で市の方にですね要望という形で出していただいた方がいいと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>そうするとその意見書を出すというタイミングはどうなるの。</p>
<p>石田企画政策課長</p>	<p>専門部会の議論の前だから、できれば5月いっぱいに出していただいたほうが。それはまた専門部会の中で議論してまいりますので、できれば5月いっぱい位に、専門部会の開催を6月位に考えていますので、5月位にお願いしたいと思っております。</p>
<p>会 長</p>	<p>そうすると、地域審議会の中で意見の集約をという事になると5月中にしないとまずい。5月の半ば位で会議を持つということではよろしいでしょうか。それでは、総合計画について、質問をお受けします。</p>

木島委員	<p>木島です。全体のながれですけれども、行政のことというのは我々住民からしますと、そんな事はしてくれなくてもいいよということが妙にあるわけですね。まず施策を決めてからこれはこういったことでやるんですよと市民の要望でやるんですよということですが、どういったことで住民の皆様が必要性を感じるかという事を住民の皆さんに聞いてから、最低限これだけやってくれば後は多少道路に穴が開いていようが、なんにしようが我々生活するうえであまり困らないからそこだけきつちとやってくればOkですよというように施策をまとめたほうがいいと。それからある程度余裕があるのであればその次をやる。それがひとつの行政評価システムの形だとおもうんですよ。住民が望んでいるものをやるのが住民も住んでてよかつたなという事になると思います。</p>
橋本委員	<p>橋本ですけれども、木島さんの意見なんですけど、難しい事はわかりませんが、道路の工事についても人の通らないところをやって、この前の道路なんかは雨が降ると水がすごい事になっている。ああいう所をやらなくて、うちの裏を今工事をしていますよね、あまり通らないような所を側溝をやっていますよね。</p>
飯島委員	<p>私は地元ではないのであれですけれども、要望があつてやるわけでしょう。当然。要望がなくてはやらない。それは木島さんがおっしゃる無駄ではなくて、それはそこに住んでいる人たちが必要があつてやっているわけでしょう。</p>
会 長	<p>市長が体系を立ててやっているわけですからね。いずれにしても、これからの行政は評価をきちっとして、企業会計でいうように投資してどれだけ効果があつたか、行われた事業自体が住民にとって幸せにつながつたかどうかという行政評価を意識するわけであります。予算の範囲、税金の範囲が限られていますから、効率的に何かをしようとするれば、どっかを選択していった集中的におこなうということになっていくだろうと思います。それでは、総合計画については。</p>
土屋委員	<p>住民の願いが切実なものを取り上げられるような行政評価を講じてくださるように。外灯にしても道路にしても、区長を通してあげていくわけですが、そのほかもっと大きな問題になると役場の職員を経験された方だとわかるんですが素人ではなかなか大変なんです。私は納税組合長を経験したから今回6カ町村の時には東金市並みの納税の報酬が残るはずでした。4カ町村になったら蓮沼村では納税の組織はほとんどなくなりました。やはり皆さんが変えたければ、我々地域審議委員が近所の人々の声を聞いてまた復活するように、諮問に応じると同時に意見を述べるという、来年の総合計画は、こういう問題についてなかなかね。我々が周りの人の意見を聞いて分科会、専門部会ですか、出して行きたいなと思います。</p>

<p>会 長</p>	<p>それでは、5月下旬に事務局の方から説明がありました参加希望を取るという前に5月の中旬くらいに意見書を取りまとめるための会議を開く事にいたしまして、この総合計画については閉めたいと思います。それでは、第三番目の福祉問題についていたしたいと存じます。この問題については藤井委員の方から資料の提出があります。それでは藤井委員お願いします。</p>
<p>藤井委員</p>	<p>藤井です。高齢化社会と福祉コミュニティづくりへの提言ということで、高齢化社会へ移行して、先ほど事務局の方から本市においては高齢化率は27%ということで実はびっくりしちゃったんです。ということはですね、これからいろんな問題を抱えております。よく7年問題、8年問題、14年問題、15年問題とかがよく厚生労働省とか外務省で言われます。わたしはある、何といいますか国の委員をやっておりまして、非常に切迫した地域社会ということをよく言われまして、例えば千葉県の場合ですね、新聞とかマスコミのなかで孤独死で死んで3年目で発見された。これはアパートにいたわけですよ。なぜ3年間もほっといたのかという事ですね。東京都でも大体1,890人位が孤独死で死んでおります。一日大体4～5人位ですか、死んでおりますね。そういうことがありますね、松戸なんかは102人です。1年間に亡くなったのが。松戸はですねあれだけのマンションがありますから、マンションといいますかアパートメントがあります。相当の人口があります。私はそういういろんな状況、社会状況等を見まして、山武市から特に蓮沼から絶対にだしたくない。というようなことで、何とかしなければいけないということでご提案を申し上げたわけです。例えば7年問題、今年なんですけれども、どうなんだろうかということなんですけれども、本年ですね、年金分割というのができるんですね。年金恩給をですね、二分できる。それが今年の4月から発効したわけですから離婚がすごくアップする。それによって一人暮らしになるわけですよ。それから何といいますかもう一つ7年問題今年というのは団塊の世代、1946、7年から49年に生まれたベビーブーマーですね、ベビーブーマーが今年から退職していくわけです。3年間で退職しますけれども、約680万人ですよ。本市においては何人くらいいるかわかりませんが、平均をとりますとね、田舎には帰らない、田舎では生活ができないよと。特に山武市は事業所が少ないから帰れないんだと。厚生労働省に行って、藤井さんは山武市だから大変だねという声がかかる。どういうことかといいますと、ベビーブーマーですね、田舎に帰って仕事をしようと思っておりますけれども、あまりにもですね、そういう何といいますかベビーブーマーですね、特に51年頃の経済成長のときの、あの時は経済成長率が8.22位ですから、その時銀行がどんどん金を貸したものですから、その時家を作る。そういうことでまだ残債がいっぱい</p>

残っている。680万人のベビーブーマーの平均借金率が1,155万円なんです。この山武市に帰ったらそれが払えない。退職金もだいたい4人に一人はゼロという事になっていますよね。計算しますとね。680万が退職金を全部もれれば大体80兆円。ちょうど国の予算くらいですけども、4人に一人ぐらいは退職金が出ないという事になりますと、大体60兆円。もう一つは8年問題というのは皆さんご存知のとおり年金の問題なんです。皆さんご存知だと思いますけども年金は積立方式と賦課方式があります。現在は賦課方式をとっておりますけれども、年金が変わりまして、本年に集めた保険金から受給者に支払う、これを賦課方式といいますけれども、賦課方式をとりながら積立金が預金が150兆ある。そのうち3800億円くらいをグリーンピアなどを作りましてね、それで国会でも追及されまして、来年から使おうではないか、年金に使おうではないかという事になりまして、そういうふうなことなんですけれども、よく言われるように厚生行政というのは変わります。そういうふうな事がございまして、それからですね本市の場合は27%の高齢化率なんですけれども、どうやってこれからですねやっていくのか。つまりですね、介護保険は6年、平成6年に開始されたわけですけども、在宅シフト、できるだけ家庭で介護しなさいよと、そうしますとね、医療を病院では死なせないよと。そうしますとねとにかく在宅で生活をしなければいけない高齢者ひとり住まい、それから高齢者夫婦、非常に増えます。さあどうするかと。まあいろんな地域支援事業もありますけれども、実際には借金があっても実際には動けません。なかなかむずかしい。孤独死が出てくるわけですよ。そのようなことを考えまして、これから高齢者が増えましてどうしたらいいんだろう。私は、本市は、特に蓮沼地区は91人、65歳以上の高齢者が91人おりますけれども、介護者がどの程度いるか、家庭介護ですね。どんどんどんどんですね介護保険法がサービスが低下しましてね、今まで介護保険法でサービスができたものがパンクする。2食が今まで3食が2食にする、2食を1食にすると、そういう状況が聞かれる。そういう時に私たちが地域社会に住んでいて放置できないですよ。仮に家族介護をすればいいんだよとなるわけです。社会福祉の互助制度、社会保障制度というのは、国の保障制度というのはですね、こどもを二人作って夫婦、夫婦で子供を二人つくれば標準なんです。だけどそれはもうブレーキなんです。私は今日帰ったらやりますけれども、27%という事でやりますけれども、トータルで日本における家族介護指数ですね、1925年には1.30、これは高齢者一人について何人位介護できる人がいるかという指数なんですけれども、来年になりますと0.63なんです。家庭介護がゼロということになる。そうなったらどうするかと。国はそれに対して、介護をしていけるん

	<p>だろうかと考えて、例えば山武市を考えた場合ですよ、世界的な水準に達した福祉サービスをはたしてこういう景気の中で守っていけるかですよ。高齢化はどんどん進む、介護力はどんどん減る、離婚率はどんどん上がりますね。だいたい6万件くらいですね。実は昨年あたりからどんどん下がりっぱなしなんです。よく考えればですね、今年から離婚したら年金を半分くれるんだということですね。まだ山武市は元気な年寄りがいっぱいいると思うんですよ。そういうアクティブシニアを使ってですね、福祉コミュニティを作ろうではないかと。これはですね、福祉の心というのはみんな持っているんだけど、どんなふうになればアクションを起こせるかという方法がわからない。これから行政の方々の指導を受けながらですね、やって行きたいと言うことでこの福祉コミュニティを作りたいと思っています。私も経験がございますので、例えば武蔵野市でもやりました。一緒になってやりました。土屋市長とですね。あの人はいつもジャンパーを着ていまして、背広なんかを着てはだめだといってやりました。非常にがんばって、福祉日本一になりました。椎名さんも、この前も言いましたけれども、椎名さんも住民の中に入っていきなさいよといったんですよ。今度蓮沼から始まって市長との懇談会ができるそうですけども、期待しておりますね、この問題、福祉はどうあるべきかという問題を話して行きたい。やはり行政は猫の目のように変わる厚生行政をですね、変えていけるような心構えが必要だろうと。できるだけ住民の元気な方を使って、この地域社会を明るくするためにね、安心できる社会を作って行きたい。そのためにはボランティアをどんどん使ってですね、自治体に提供しなければいけない。</p>
佐藤委員	<p>実は蓮沼にも山武市にも社会福祉協議会というのがありまして、年寄りのいきいきふれあい会、食事会ですね、それから年寄りを見守る、年寄りの家庭を民生委員の方が月に1回か2回まわっているんですね。そういうことをずいぶん前からやっています。</p>
藤井委員	<p>私、民生委員の方と話をしましたよ。私は福祉を知らないんだと言っていましたよ。福祉は知らないけれど名前だけ貸してくださいよという事を言っていましたよ。</p>
橋本委員	<p>蓮沼ではボランティアがきめ細やかな活動をしています。いきいきサロンやゆうあい訪問といって毎月訪問活動をしていて、他には負けない活動をしています。私も役員をやっていますけれども、蓮沼からは孤独死はでないと思いますよ。</p>
会 長	<p>では、いま藤井委員の方から福祉についてのご提言がありました。あと市の方から何かご意見があれば、政策的な問題でありますので。総合計画の中で、やるようになるのかね。</p>
加瀬支所長	<p>この問題はですね、福祉となっていますけれども、今後です</p>

<p>会 長</p>	<p>ね地域審議会としてご要望なり、ご提言なりするというのであれば今後1回ないし2回会議を積み重ねてですね、ご提言なりご要望なりを作る部分を練っていただきたいと思います。事務局の方は本日は待機しておりませんので。</p>
<p>秋葉委員</p>	<p>藤井委員の方から話を聞いて、蓮沼は田舎ですので、独居老人というのは一人で住んでいることを言うの。かく言う私も老人世帯でありまして、70になろうとしています。</p>
<p>藤井委員</p>	<p>山武市というのは田舎でありまして、残念なのか喜ぶべきかわかりませんが、昔のようにつながりのようなものはなくなりましたが、まだまだ山武町、蓮沼、松尾、成東、長男が家を継いで親のめんどうをみるという風習が言いが悪いが残っておりますので、そういったところを新市の総合計画の中にも家族といったものを大切にするとといったものを制度は制度としていっているかもしれませんが、もう少し、雨が降ってきたら洗濯物をしまつてやるというような、おせっかいかもしれませんが、そういう地域コミュニティのよさがある。そういったところからも、こういった画一的にこうあるべきだとお上からも押し付けられたところよりもこういう精神面を大切にしたいなと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>よろしいですか、今のご質問はよかった。内閣府で調査したんですが、子供と一緒に住みたいという親はですね42%ですよ。その次の年がですね、50%。だんだん増えている。都会はどうしても少なくなっている。</p>
<p>藤井委員</p>	<p>私の方で交通整理をさせていただきます。ただ今福祉の方からご提言がありました。この問題については、引き続いて私どもが協議をしていくという事でご了解をいただきたいと思います。それは蓮沼地区独自に田舎であるが故にでしょうか、行政以外のところでそれぞれの地域の方々が様々なネットワークを張っております。近所にお年寄りがいけばほぼ毎日顔をあわせて元気かというようなことを呼びかけをしたりしています。ご提言はそういうようなことを再確認するような意味での検討して、落ちているようなことがあればそれを再構築していくかということについて議論をしていきたい。その議論の入口をご提案いただいたということでご理解をいただきたいと思います。それでは2番目のほうです。</p>
<p>飯島委員</p>	<p>それからですね、提言のなかに差別というのがある。自治会に入らなければ火事になっても水をやらない。これは現実なんですよ。私は聞いたんですよ。そういうことはないようにしましょう。私もですね、東京都でですね同和対策を少ししていた。新住民ということですね。</p>
<p>飯島委員</p>	<p>新住民という事ですけども、逆。逆の事のほうが多い。新らしくこらした方のほうが変わえようとするところがない。ある程度、こういうことですよとお話して勧誘するわけですけど</p>

<p>会 長</p>	<p>も、入らないという事が多い。</p> <p>そうですね、こういうふう理解していただければいいと思います。外から蓮沼の中に入られた。それで地域にはある程度共同体といいましょうか昔からございます神社を中心とした形でのある種のコミュニティがある。それは神社を中心としてありますので、でも地域の方はそういう方々にお声をかけるんですけれどもなかなかコミュニケーションがうまくいかないという問題は一つあります。もう一つ問題は私区長をしていて行政の方から回覧板を回してくれといったときに、地区としてのつながりがない。おそらく回覧板が回っていないところがある。新しく来た人たちが、あるかもしれない。つまり行政上のインフォメーションがほかの人たち全員に行かないという問題があるかと思えます。一番の問題は、その区に入っていない、入っていただけないために私たちは区に区費を払ってさまざまな事業をしているわけですけれども、そういうのにご参加いただけないと。それは行政上の問題があるかと思うんです。例えばですね、南浜南区というところがある。新しい人が来たときに住民登録をしますね。地域の中でたぶんその役場の職員はどの地区に所属をしますかといったところでその人はわからないですよ。南と北と中という地区があって、どこかに所属させなければならない、組織として。だから個人が申請するんだか、意識的に設定するのかわかりませんが、その地域に入りますよね。区長はこんな人がいたんだという思いがあります。回覧板は全部には回っていない。地域の中のコミュニケーションをどうするかというのは、これからみんなでもって考えていかなければならない。それでは二番目の、もう一点ありましたね。</p>
<p>藤井委員</p>	<p>これももうすでに先駆的な自治体は使っておりますし、転入すると必ず役所からアドケーションはここですよと教えてくれる。行政に対していろいろ質問があったとか、聞きたいことがあったならばこの部屋に行けばいい。行政に言えないようなことを話せるような、心に思っているもいえない。これはどこの世帯にもありますよ。これはボランティアでいい。これは行政が入りませんのでね、表だけはボランティアの住民が入る。これは非常に人気がありますね。市でも使っている。病院でも使っている。いろんなところで使っています。</p>
<p>会 長 佐藤委員</p>	<p>これは常設ですかね。</p> <p>アドボカシー相談室に該当するかわかりませんが、社会福祉協議会で主に4つの相談窓口があります。ひとつは社会福祉協議会がやっている弁護士相談、それからもうひとつは心配ごと相談、この二つを社会福祉協議会がやっている。あと市民課でやっているのが人権相談、行政相談。心配ごと相談、人権相談、行政相談、この三つはあまり利用がない。弁護士相談</p>

<p>藤井委員</p>	<p>だけは結構繁盛しているようなんですけども、これはだいたい山武地区、成東地区、松尾地区でも共通しているようなんですけども、なぜ人が来ないかという、やはり知っている顔に相談するというのが、情報がそこから漏れる、守秘義務というのが守られていないのではないかという心配があります。</p> <p>社協でやっているのはね、例えば地域社会の問題だとか、県から市町村の社協に委託してやっているんでしょう。それはそれぞれありますけれども、それぞれ相談内容が違います。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>心配ごと相談は民生委員がやっているでしょう。だから相続だとか、土地の問題とかのもっと高度の具体的な内容は弁護士相談。心配ごと相談というのは、隣のおばあちゃんとうまくいかないとか、そういう細かい相談を含めて結構人気があると思うんですけども、相談件数がないです。</p>
<p>会 長 佐藤委員</p>	<p>これは市のほうでこんな数字、どれくらいでしょうかね。</p> <p>私、社会福祉協議会の事務局長を2年やっていましたけれども心配ごと相談というのは年に6から7件ですよ。人権相談で1件か2件です。毎月1回づつやって1件か2件。それが実態です。だから、アドボカシー相談室という立派な青写真をかいてあるんですけども、実際利用されなければ意味がない。</p>
<p>会 長 藤井委員</p>	<p>現実はどうなんでしょうね。</p> <p>例えば虐待ね。虐待なんかは現実にあってですよ、死にたいという子供がいても校長はそんなことはありません、蓮沼ではそういう事実、虐待いじめはありませんといながら千葉県はワースト3ですよ、やはりそういう組織があればそこにいけばいい。実際には声なき声ですよ。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>声なき声を拾ってあげればいいということ。そういうことを民生委員の方々がやってもこないんですよ。</p>
<p>会 長 土屋委員</p>	<p>つまり、そういう組織ではだめか。</p> <p>確かにプライバシーの問題があって、むづかしい問題で一挙に解決はできないけれども、やはり今までやっている橋本さんから話がありました既存の蓮沼村としての地域の協力というか、配慮を市のほうも広げていただかないと、山武町なんかでは団地が多くなって固まっているんですけども蓮沼のように点在した住宅地区の方はどうしても昔からのいろんな冠婚葬祭なんかでも自分たちだけで何とかやって行きたいというところがあります。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>人権相談をしているんですけども相談者が少ない。人権相談、行政相談だけではなくて具体的にいじめの問題、家庭問題、虐待だとかそういうことで悩んでいる方はどうぞおこしく下さいというんですけども。</p>
<p>会 長</p>	<p>この議論をどこまでやるかという問題になりますけれども、佐藤委員のほうからはそういう窓口を設けてもこない。地域の中にどうですかね、こういう問題を抱えている方は。</p>

土屋委員	<p>私も限られた人としてしか交際できませんよね。限られた時間で。次男坊が離婚をしてしまった。離婚した時の借金がおばあさんの方にかかってきてしまった。会社の中で給料が払われてなかったんですけども、何とか取り戻したいとか、いろんな遺産相続の問題で相談したいだとか、私なんかはふれあう中で専門的にわかりませんので、手前味噌というか共産党関係の民商とか、無料法律相談というのでそういう所を紹介したり連れて行ったりしたことはあります。どの程度ということはわかりませんが、藤井先生がおっしゃった事もとりあげて、網の目のようにいろんな形で吸い上げていくというのが必要であると。社協の体験から佐藤さんからもありました。いろんな形で網の目のようにやっていく形で新たに藤井先生のおっしゃった事を実行していただいて、網の目のようにしていくことが必要でないかと。介護ベットというのが非常に売れなくなってパラマウントベッド松尾工場を閉鎖して成東に全部まとめると多くの方が退職しました。あれというのは結局、病院の病気でない人は病院に介護状態で病院に置かれた人は、全部ベッド数を減らされていらなくなってしまったと言うような事も一つの原因という事で、実際に家庭に介護の人が返される例が非常に多くなってきたら、そうするとテレビでも取り上げましたけれども、お子さんたちが仕事をしながら介護をしなければいけないとか、そういう例があるでしょう。総合的にそういう新しい状況が国の方針の下に生まれているということをも十分認識して何とかお年寄りを守りたいと。</p>
<p>会 長 藤井委員 会 長 藤井委員</p>	<p>ありがとうございます。この辺で終わりにしてください。行政の方に質問があります。よろしいですか。どうぞ。</p>
	<p>昨年ですね、家庭支援診療所というのができましたね。介護費と入院費を抑制するために作りましたね。去年、24時間体制で診療所を設ける。日本全国で9700位、千葉県では174位。これはどこにあるか知らないんですよ。24時間開設しています。在宅療養支援事業所。厚生省の資料では174と書いてある。山武市にあるのかどうか。住民に知らせなければだめですよ。これは24時間体制ですから。</p>
<p>会 長</p>	<p>それでは2点目の藤井委員のご提案の件は意見書の中で提言をさせていただくという方向で議論をしていくという事でご了解をいただきたいと存じます。それでは5番のその他のほうに行かせていただきます。今までご議論をいただきましたけれども何かそれ以外でありましたご発言いただきたいと存じます。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>3月15日で税金の相談が終わりましたがけれども、先だって山武地区の役場に行きましたらかなりの大きなスペースをとって山武地区の相談予定を書いてありました。蓮沼村では1月の広報に出ていますと3月13、14、15しかできないと思っている住</p>

会 長	<p>民が多かった。担当者に聞いたらいつでもいいですよという事でした。19年度は同じような事があると思って、蓮沼は出張所扱いになって、人数が減ると。そうなる成東庁舎まで行かなければならないという実態も出てくるわけです。その点について19年度も蓮沼地区はこちらに来てやりますよということなのか、あるいはこちらに来てやれということなのか、できるだけその点についてお願いします。</p>
土屋委員	<p>実際には私もそういう経験をいたしました。何人かの人たちに3月の末の三日間が蓮沼の予定でありますからそういわれましたが窓口はいつでも空いていて2月16日から3月15日までは市のほうは受付をしますし、窓口は蓮沼の出張所にあるという事でした。たぶん、かなりの人たちが最後の三日間でなければだめだという認識をしていたんですね。その辺のところの広報の仕方を考えたらどうかと考えます。</p>
会 長	<p>住民税の申告書をいただいた人は緑色の紙に印刷されたものがきてね、九区という部落、蓮沼の南岡は14日だとそういうふうに確かに三日間になっていて、行ったら役場の人がもっと前からやっていたと言われたそうですが、これは三日間でわーっとこられても役場のほうで応援がきてやってくればいいが機械がないから一遍には大変だから。説明の仕方、広報の仕方をもうちょっと考えて方がいいのでは。</p> <p>蓮沼地区のかかりの人たちがこの三日間しか受付られないのかしらと思ってしまった事は事実です。その辺は再考をお願いします。それではその他で私の方から二点ほどお願いがあります。事務局の方にお話をするわけですが、5月中旬の地区の取りまとめのための会合を、審議会を持ちたいと思います。そのときに様々な事について総合計画の中に提言をしてほしいような事柄について、お考えをしておいていただいて、別に細かくかくことはありませんが、このようなことはどうだろうかということをお考えをさせていただきたいと存じます。それから具体的に私の方からお願いしたいのは4月の1日から今の蓮沼の役所が住民課だけになってかなりあいたスペースになってしまうということがありますのでそのスペースについて有効利用する方法があればご提言をいただきたいと考えています。それからこれは事務局の方へお願いをいたしたいと考えている事業が一点あるんですけども、蓮沼海岸の整備事業のなかでよろい護岸、つまり防潮用の護岸をしてあるんですけども、蓮沼の半分ほどで事業が止まっているわけです。これは市の事業ではなくて県の事業です。これは津波対策として県が長い年月で事業をしてきたわけですが、県の方の予算の関係でしようか止まってしまっていますので、市長に是非きちんとお話をもっていただいて事業のできるだけ早いつまり着工を陳情していただきたい。そうお願いしておきます。事業が止まっちゃっ</p>

藤井委員	<p>ているから、市長にそういう意見がありましたからという事を いていただきたい。お願いをしておきます。是非検討して早 急に事業が再着工できるようにきちっと話し合いをしていた きたい。</p>
会 長	<p>最初にありました旧庁舎の使用。ランニングコストで有効利 用を図るのはいいんですけども、経費がかかるでしょう。</p> <p>どういう使い方をしようかと皆さんで議論していただいて、 その使い方を私たちが市の方に申し上げていこうということ です。それでは今日はこの程度でよろしいでしょうか。</p>
土屋委員	<p>皆さん資料の2ページの一番最初が一番上のほうに所得税か ら個人住民税への税源委譲に伴う増、この言葉に関係した事 ですけども、7月号のその6～7ページに特に7ページにその事 が出ております。6月の住民税はわれわれ課税所得200万以下は 5%が10%になる。三位一体の小泉改革の骨太の方針の三位一 体の改革で地方分権、地方に税源を移譲するのに国の補助金を 減らして、なんかいらぬものを作ってしまうという反省も含 めて、そのようなことで関係する部分もあったわけですが、交 付税の削減とそういう地方の財源の少ないところとの差がどの 程度委譲してくるかがこれからの課題で、新型の交付税とい うのは面積と人口ということで細かい配慮がどの辺までいくか わからなくて、個人個人にとってみると6月は2倍の去年の2倍弱 の住民税の納付書が届くわけですね。そうすると昨年度お年寄 りがあんだか急に税金が今年は上がったけれども、合併する とろくな事がないねという声があって、私松尾のふれあい会 でそれは市が合併したから増えたんじゃないと話をしましたけ れども、なかなか簡単にはわかってもらえない。国の方針で、 方針が出たということを経営で電話が殺到、全国的にみると 殺到してしまう。やはりテレビでも解説するでしょうけれど も、なかなか新聞テレビだけでは理解できない方もあって、 合併というものに対する不快感を醸成してこのことが出た たら、足を引っ張る事にもなるので、窓口の対応は十分慎重 に勉強してみんなわかりやすく納得させる、またこういう広 報等でもやさしくねわかるように、また合併で税金が上 ったという誤解をうける。そういう心配をしていますので 十分よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
会 長 石田企画政策 課長	<p>それではこの辺で会議のほうを閉じたいと思ひます。</p> <p>よろしいでしょうか。先ほどの私の説明のなかで木島委員 さんです、土屋委員さんに未回答の部分がありましたのでこ こでお答えしたいと思ひます。まず、木島委員さんの維持補 修費の増の理由でございますけれども、これにつきましては、 今年物件費に計上してあったものを維持補修費に統計の関 係で物件費から維持補修費に直したという事がありまして、 それで5,800万ほどです増額になったという事で、維持補 修費とし</p>

<p>会 長 加瀬支所長</p>	<p>ては例年このくらいの金額はかかってしまうだろうと思います。それから、農業集落排水の関係でございますけれども、やはり地区採択でございますけれども、全体計画の中で位置づけがしてないとやはり難しいという事だと思います。それからもう一点なんですけれども、4月からの組織の改変によりましてですね、各支所が出張所となりますので、今後の地域審議会の事務局につきましては本庁の企画政策課の事務という事になります。この会議等はですね、この場所で行うようなことになろうかと思っておりますけれども、事務局としては本庁の企画政策課が扱うという事でよろしくお願ひしたいと思ひます。以上でございます。</p> <p>事務局の方からありましたらどうぞ。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>それでは事務局の方から一点ご連絡をさせていただきます。実は佐藤委員なんです、先ほど佐藤委員からご発言がありましたようにですね、区長の任期がこの3月で切れるという事でございます。区長代表ということで委員をお願いしてありましたけれども、区長の役職がなくなるという事でございます、この回の会議で退任されるということになろうかと思ひます。次の区長の代表が決まりました時点で区長の代表で委員に加わっていただくわけですが、今回は最後になろうかと思ひますのでご紹介させていただいて、一言いただければと考えております。</p>
<p>会 長</p>	<p>くだらない委員でありましたけれども、みなさまお世話になりました。</p> <p>それではこの会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。</p>
	<p>以上 午後4時25分 閉会</p>